

第1号議案 2019年度事業報告について

一般社団法人 埼玉県建設産業団体連合会 2019年度事業報告

1. 建設産業に関する調査研究・提言

(1) 建設産業に関する調査研究について

連合会会長が、一般社団法人全国建設産業団体連合会の監事として、その活動に参加し、建設産業の全国的な状況について把握した。

- ① 監事監査（4月24日）
- ② 理事会（5月28日）
- ③ 総会（6月24日）
- ④ 生産システム委員会（8月27日）
- ⑤ 会長会議（9月24日）

(2) 提言・要望について

政治・行政機関と意見交換会を実施し、建設産業の現状や改善策について論議するとともに、埼玉県予算に対する要望を行った。

- ① 公明党埼玉県議団との意見交換会（9月13日）
- ② 国民民主党埼玉県総支部・立憲民主党埼玉県連合との意見交換会（9月13日）
- ③ 自由民主党埼玉県支部連合会との意見交換会（9月26日）

【要望事項】

- 1) 公共事業予算の増額確保と県内業者の受注の拡大について
- 2) 働き方改革の推進について
- 3) 設計業務・工事発注における入札参加要件を適切に設定し、県内業者に門戸を開いていただきたい
- 4) 設計委託における入札制度改革について
- 5) 測量、地質調査、設計業務における最低制限価格の引き上げについて
- 6) 地域の特性を熟知した「地質調査業者の活用」について

2. 建設産業に従事する者の能力開発及び経営改善の支援

(1) 研修会等実施状況について

- ① 建設産業研修会（第1回）の開催（10月7日） 参加者20名

演 題 『AI時代・IT時代にとってかわられない人材力を磨く！
コミュニケーション力アップセミナー』

講 師 Office アイム代表 森川 あやこ 氏

共 催 （一社）埼玉県建設業協会、東日本建設業保証(株)埼玉支店、
（一社）埼玉県造園業協会、（一社）埼玉建築士会

② 建設産業研修会（第2回）の開催（1月22日） 参加者30名

演 題 『建設業界の女性活躍に向けて～事務所と現場がつながる役割分担』

講 師 京都サンダー(株) 企画部長 田辺 直子 氏

共 催 東日本建設業保証(株)埼玉支店、(一社) 埼玉県造園業協会、
(一社) 埼玉建築士会

③ ドローン研修会の開催

ア ドローン体験会（フレンドシップハイツよしみ）

日 程 5月20日・21日／7月1日・2日／2月26日・27日

イ ドローン実務研修会

（栃木県建設産業団体連合会、茨城県建設産業団体連合会との共催で開催。栃木・茨城県内会場で実施）

日 程 Aコース（訓練） 7月～11月に開催（各3日間）

Bコース（試験） 7月～12月に開催（各2日間）

備 考 埼玉・栃木・茨城3県より受講者を受け付けた。

④ 新入社員研修の開催

講 師 富士教育訓練センター 花輪 孝樹 氏

第1回 5月27日～28日 参加者19名

第2回 10月10日～11日 参加者 8名

⑤ フォローアップ研修の開催

講 師 富士教育訓練センター・(株)建設産業振興センター提携講師

日 程 11月27日～28日 参加者12名

⑥ 若手技術者・技能者を中心とした安全衛生レベルアップ講座の開催

講 師 (株)建設産業振興センター提携講師

9～12月で4回開催 参加者 合計73名

9月27日、10月26日（土）、11月20日、12月20日

⑦ 若手職員向けのWindows スキルチェックセミナー

講 師 (一社) 全国建設産業団体連合会 山田 安良 氏

日 程 12月5日、6日 参加者23名

※研修会実施に際しての取り組み

ア 各種研修会の実施に際しては、共催先の協力を得て、各種技術者の継続学習制度（CPD）の認定を受け、研修会の開催を活性化した。

イ 研修会事業は一般社団法人移行後の継続事業となっているため、当連合会ホームページを通じて一般参加者を受け入れた。

(2) 季刊誌『建産連ニュース』の発行について

第160号（4月）から第163号（1月）まで年4回、各2、100部発行し、会員団体及び県、市町村その他関係機関に配布した。

(3) 埼玉県建設産業担い手確保・育成ネットワーク事業について

ネットワーク設立4年目を迎え、実務担当者による幹事会を新たに組織した。今年度の取組として、ネットワーク構成団体に対するアンケート調査を実施し、入職の現状と課題を洗い出すとともに、建設産業の担い手確保に向けた入職促進方策の検討を行った。

第1回幹事会（7月19日）

第2回幹事会（9月12日）

第3回幹事会（2月7日）

2019年度総会（3月27日）→新型コロナウイルス感染症の拡大により延期

3. 建設産業に関する啓発宣伝事業

(1) 第41回ポスター・絵画コンクールの実施

次世代を担う児童、生徒の創作活動を通じて、建設産業の重要性や魅力をアピールし、広く県民に理解と協力を求めることを目的として、「埼玉の建設産業」をテーマに県内小・中学校の生徒からポスター・絵画を募集した。

① 応募状況

47校から403点の応募があり、さいたま市教育委員会等の審査員による審査を経て入賞作品67点を選定した。

② 表彰式

地域連携ネットワーク事業の入職促進事業の一環として、11月14日の県民の日に県庁内で表彰式を行い、17名の受賞者とその保護者が参加した。

また、同日イベントスペースにて会員団体による重機試乗体験会やパネル展示等を実施した。（建設業、造園業、電業、測量設計業協会）

(2) 優秀作品掲示等

① 優秀作品掲示

12月から県庁渡り廊下、熊谷市立文化センター、所沢駅東口市民ギャラリー（新規）、建産連会館ロビーで優秀作品を展示した。また、連合会ホームページでも公開した。

② 建産連ニュース別冊特集号の発行

全入賞作を掲載した建産連ニュース特集号を発行し、表彰式で配布するとともに作品応募のあった小・中学校等や関係機関に配布した。

③ カレンダーの作成

入賞作品を原画に用いた2020年カレンダーを2,500部作成し、県内小・中学校をはじめ会員団体、県、市町村ほか関係機関に配布した。

4. この法人が所有し、会員建設産業団体が入居する建物の運営

（埼玉建産連会館及び埼玉建産連研修センターの管理運営）

(1) 建産連会館及び研修センターの運営について

① 会議室予約システムの運用による効率化

空室確認から予約まで可能な会議室予約システムの利用が増加し、利用者の利便性向

上とともに運営側の効率化も図られた。また、建産連ニュースの紙面を活用して施設の紹介を行うとともに、連合会ホームページの改良を実施し、インターネット上での広報を強化した。

② 研修センターの土日貸出

研修センターの土日貸出は、採算が確保できる利用規模の申し込みに限定して実施し、資格試験等による全館借り上げ等の大口需要などで売上に寄与した。

③ 自然災害等による売上への影響

年度上半期は一般利用が安定的堅調に推移していたが、10月12日に上陸した東日本台風により、大口利用者主催の試験とそれに続く研修会が中止になった。

また、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、2月末以降の利用が激減した。この結果、研修センター貸出による売上は昨年度比減となった。

(2) 建築・設備の修繕等について

① 建産連会館5階改修工事

5階事務所棟の空調及び内装の改修工事、避難経路の改善工事を行い、居住性の向上と省エネ化、避難の円滑化が図られた。

② その他の修繕等

消火設備用発電機の交換修繕、建物外部雨樋等の塗装、5階改修工事に伴う会館全体のサッシシール材交換等を実施した。

5. 法人事業

(1) 法人の運営に係る各種会議の開催

法人の運営に係る各種会議の開催や、全国組織との連携を図った。

① 第40回通常総会の開催

2019年6月19日に前年度事業報告、会計収支決算、本年度事業計画、会計の収支予算、役員補欠選任等について決議、承認した。

② 監事監査の実施（5月9日）

③ 理事会の開催

ア 第1回理事会（5月24日）

前年度事業報告及び会計収支決算等について協議

イ 第2回理事会（6月19日）

副会長・専門委員の選任について協議

ウ 第3回理事会（2020年1月27日）

本年度事業の実施状況・補正予算について協議

エ 第4回理事会（2020年3月26日）

本年度事業・収支決算見込、次年度事業計画・収支予算、通常総会日程について協議

④ 正副会長会議の開催（2020年1月27日）

事業の実施状況や課題について協議

(2) 専門委員会の開催

- ① 広報委員会（4月23日、7月30日、10月23日、1月27日）
- ② 総務委員会（7月18日）
- ③ 研修指導委員会（7月18日）

(3) 会員団体及び関係団体との連携

- ① 会員団体から要請を受け、催事の共催を行った。
 - ア 『卒業設計コンクール』（主催：（一社）埼玉建築設計監理協会）
 - イ 『建設業経営講習会』（主催：（一社）埼玉県建設業協会）
- ② 連合会ホームページを運用し、国や県等からの各種通知を電子化することにより迅速に情報提供を行った。
- ③ 連合会会長が、埼玉県暴力追放・薬物乱用防止センター、埼玉県職業能力開発協会等の理事または委員として事業遂行に協力した。
- ④ 優秀な施工者、現場代理人を表彰する埼玉県県土整備部・都市整備部、企業局が主催する表彰式に来賓として出席した。

(4) 一般社団法人全国建設産業団体連合会との連携

会長が参加した1（1）の会議や活動のほか、

① 専門工事業委員会

埼玉県型枠工事業協会の白戸修会長が専門工事業委員会関東甲信越ブロック会議の委員として、専門工事業者の処遇改善方策や担い手確保の方策等について検討を行った。

② 「働き方改革検討会」の土木検討部会・建築検討部会

昨年度設置された「働き方改革検討会」の土木検討部会に古郡建設㈱の高橋昭夫工事長、建築検討部会に（一社）埼玉建築設計監理協会の田中芳樹会長が委員として出席し、課題と方策について協議した。

③ 全国建産連会長表彰

建産連の活動、建設産業の発展に多大な貢献があった方への全国建産連会長表彰があり、当連合会から推薦した江口満志氏、星野博之氏、細沼英一氏の3名が表彰された。

(5) 優秀施工者国土交通大臣表彰（建設マスター）

建設産業の第一線でものづくりに直接従事している建設技術者の中から、特に優秀な技能・技術を持ち、後進の指導・育成等に多大な貢献をしている方を国土交通大臣が表彰する「建設マスター」として、当連合会から推薦した2名が表彰された。

(6) 事務局業務について

① 助成金・補助制度の有効活用

埼玉県による「県土づくりの担い手確保・育成事業補助金」は3か年の期間限定事業であり、昨年度末をもって廃止された。このため、各種機関の助成金事業をフル活用し昨年度とほぼ同等の事業を実施した。

ア （一社）建設業振興基金の建設産業活性化助成事業（ポスター・絵画コンクール）

イ （一社）建設業振興基金の利子補給助成（改修工事資金借入）

ウ 厚生労働省埼玉労働局の人材確保支援助成金

エ 独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構の生産性向上訓練支援事業

② 事務局業務分担の見直し

年度途中で再任用職員の退職、臨時職員の正職員としての採用があり、この機会に業務分担の見直し、業務データのIT設備による共有化を進め、業務効率の改善に努めた。